

報道関係各位

銚子信用金庫

2022年度決算概要の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町5番地の5、理事長：森山博志）は、2022年度決算（2022年4月1日～2023年3月31日）の概要を下記のとおり公表いたします。

記

1. 預金積金・貸出金の状況

預金積金残高は、個人の流動性預金は増加したものの、定期性預金の減少により前期比57億円減少の5,266億円となりました。

貸出金残高は、従来からの事業所パートナー先への取組に加え、各種個人向けローンの提供、地公体等向け融資の推進により、前期比145億円増加の1,623億円となりました。

	2022年3月末	2023年3月末	増減
預金積金	532,418 百万円	526,646 百万円	-5,772 百万円
貸出金	147,799 百万円	162,393 百万円	+14,593 百万円

2. 損益の状況

収支面では、資金運用収益、役務取引等収益が増加したものの、その他業務費用の増加により、経常利益は前期比348百万円減少の1,522百万円となり、当期純利益は同539百万円減少の1,470百万円となりました。

	2022年3月末	2023年3月末	増減
経常利益	1,870 百万円	1,522 百万円	-348 百万円
当期純利益	2,009 百万円	1,470 百万円	-539 百万円

3. 自己資本

当期純利益確保の一方、優先出資の一部買入消却（2,100百万円）を行ったことから、自己資本額は710百万円減少。その結果、自己資本比率は前期比0.48ポイント低下の10.66%となりました。

	2022年3月末	2023年3月末	増減
自己資本額	22,116 百万円	21,406 百万円	-710 百万円
自己資本比率	11.14%	10.66%	-0.48 %

4. 不良債権（金融再生法上の開示債権）の状況

毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて処理を進めるとともに、事業再生や経営改善等の支援にも積極的に取り組んでいます。不良債権額は前期比574百万円増加の8,906百万円となりましたが、貸出金増加により不良債権比率は前期比0.15ポイント低下の5.46%となりました。

	2022年3月末	2023年3月末	増減
不良債権残高	8,331 百万円	8,906 百万円	+574 百万円
不良債権比率	5.61%	5.46%	-0.15 %

以上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：高木）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町5番地の5

TEL：0479-25-2115 FAX：0479-22-9909 e-mail：keiki@choshi-shinkin.co.jp